※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）日本史（近世）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史探究『詳説日本史』（山川出版社）						
副教材等	「新詳日本史」（浜島書店）、「改訂要点整理ゼミナール日本史」（浜島書店） 教員作成プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象の前後関係、流れに思いをいたす。
・世界（特にアジア）の国々や諸地域の状況にも注意を払い、日本の歴史事象との関連を考える。
・歴史の流れのなかで現在の日本のあり方を位置づける。

２　学習の到達目標

（１）日本の歴史を各時代に概観する基礎的な知識を身に付ける。

（２）地図資料や歴史資料に加え経済事象に関する統計資料を用い、歴史的事項と経済事象の関係性について体系的にとらえる力を養う。政府の文化政策に対する民衆の反応や文化の変遷について認識を深める。

（３）わが国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、歴史的思考力を培い、日本国民としての自覚と主体的に生きる日本人としての資質を養う

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近世を中心とする日本の歴史についての基本的な史実や歴史用語・概念についての知識を、地理的条件や世界史と関連づけながら理解している。また、様々な史資料から、有用な情報を選択し、読み取ることができる。図表などにまとめたりする技能を身に付けている。	我々の生きる現代の諸課題を授業で学んだ歴史的観点から考察し、世界と日本社会の変化に関する科学的な認識をもとに冷静かつ公正な判断をくだせるか。また、その思考の過程や結果を適切に他者に対し、表現している。	国家・社会を形成する主権者としての責務を果たそうとする意欲があり、歴史的事象や社会的な諸関係に対する関心と課題意識を持ち、課題を意欲的に追究、解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近世の幕開け	織豊政権	a: 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 b: 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	プリント・ワークシート
		桃山文化	a: 桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を読み取り、理解している。 b: 豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。	定期考査	定期考査	プリント・ワークシート
2学期	幕藩体制の成立と展開	幕藩体制の成立	a: 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 b: 織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	プリント・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		幕藩社会の構造	a：幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 b：新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相について、根拠を示して表現している。 c：織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察し、そのつながりを主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	プリント・ワークシート
		幕政の安定	a：諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。 b：戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	プリント・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		経済の発展	a: 産業の発達、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解している。 b: 陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 c: 近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしようと主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	プリント・ワークシート
		元禄文化	a: 都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17 世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 b: 近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している c: 幕藩体制が安定していく中での経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17 世紀の文化の特色を明らかにしようと主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	プリント・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	幕藩体制の動揺	幕政の改革	a：幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。 b：商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。 c：幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	プリント・ワークシート
		宝暦・天明期の文化	a：幕藩体制下の社会の変容に着目して、宝暦・天明期こおける新たな学問の確立、各地に設立された教育機関の展開を理解している。 b：幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。 c：政治・経済と文化の関係に着目して、宝暦・天明期における文化の展開について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	プリント・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		幕府の衰退と近代への道	a: 列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。 b: 国際情勢の変化と影響などに着目して、幕府政治の動揺と諸藩の動向について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 c: 飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	プリント・ワークシート
		化政文化	a: 政治・経済と文化の関係などに着目して、19 世紀初期の経済の動向や江戸を中心とする庶民文化の形成について理解している。 b: 近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について、学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出そうとしている。	定期考査	定期考査	プリント・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度